



第 11 回シンポジウム 開催のご案内【予告】

- 日 時 2018年2月20日(火) 14:00~17:30
- 場 所 都市センターホテル
所在地: 東京都千代田区平河町2-4-1
最寄駅: 地下鉄麴町駅(有楽町線) 永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線)
- テーマ 日本創生 「多世代インクルージョン」が日本を元気にする
~アクティブシニアと現役世代のコラボで創るプラチナ社会~
(参考)「多世代インクルージョン」とは
異なる世代が各々の立場、環境、考え方を理解し、各々の培った特有の経験やスキルをお互いに認めあい活かしあいながらすべての人々が活躍し前に進む状態を表現。
- プログラム
- | | | | | |
|-------|-------------|---------------------------------------|-------|---------|
| 14:00 | 課題提起 | プラチナ構想ネットワーク | 会長 | 小宮山 宏 |
| 14:15 | 基調講演 | 東京大学高齢社会総合研究機構 | 特任教授 | 秋山 弘子 様 |
| 14:45 | 講演 | | | |
| | ① | 企業におけるアクティブシニアと現役世代の相乗効果 | | |
| | | 株式会社前川製作所 | 専務取締役 | 川村 邦明 様 |
| | ② | シニア人材が地域に貢献する企業OB団体 | | |
| | | NPO 法人京都シニアベンチャークラブ連合会 | 事務局長 | 船越 健 様 |
| | ③ | 高齢者が元気になるモビリティ社会の実現を目指す名古屋大学 COI 研究開発 | | |
| | | トヨタ自動車株式会社 未来創生センター X-フロンティア部 | 担当部長 | |
| | | 名古屋大学 COI 拠点長/プロジェクトリーダー | | 畔柳 滋 様 |
| 16:00 | | (休憩) | | |
| 16:10 | パネルディスカッション | | | |
| | ① | プレゼンテーション | | |
| | | 「アクティブシニアに期待する社会課題解決」 | 川崎市長 | 福田 紀彦 様 |
| | ② | パネルディスカッション | | |
| | | 「アクティブシニア×現役世代×新技術が生むプラチナ社会像を探る」 | | |
| | | ※パネラー 講演者3名、川崎市長、横浜国立大学3年 | | 藤井 仁花 様 |
| | | ※ファシリテーター メディアオフィス「時代刺激人」代表 | | 牧野 義司 様 |
| 17:15 | まとめ | オフィス・フロネシス 代表 | | |
| | | 一般社団法人 Women Help Women | 代表理事 | 西田 治子 様 |
| 17:25 | 閉会挨拶 | プラチナ構想ネットワーク | 幹事長 | 岩沙 弘道 |
- シンポジウムの趣旨
- 日本の経済発展を支えてきた団塊世代を始めとするシニア層は豊富な経験、知識、ノウハウを持ち、これらは貴重な財産です。また、「20歳~74歳」人口比率で考えると日本は他の先進国と比較してトップクラスです。
 - 現に、シニアがアクティブに企業、地域社会に関与することによる他世代とのコラボレーションが、複雑化した社会を担う現役世代を後押しし、そして新たなイノベーションを創出しています。これらは「多世代インクルージョン」の一例です。
 - 加えて、AIを始めとする新技術の目覚ましい進展は、社会及び生活態様に様々な変化を与えつつあります。
 - これらの変化は、益々シニアの活躍の領域を拡げ、様々なシーンにおいて「多世代インクルージョン」の灯が点り、プラチナ社会への道筋を照らすのです。
 - 当シンポジウムでは、時代を先取りしたコラボレーションの好事例を共有しつつ、「多世代インクルージョン」に向けて必要なことは何か、今後、AI、IoT等の新技術は、シニア活躍の場をどのように拡げるのかについて議論し、日本創生の可能性を探ります。



■講演者のプロフィール

○基調講演

秋山 弘子 氏 東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授

経歴 イリノイ大学で Ph.D (心理学) 取得、米国の国立老化研究機構 (National Institute on Aging) フェロー、ミシガン大学社会科学総合研究所研究教授、東京大学大学院人文社会系研究科教授 (社会心理学)、東京大学ジェロントロジー寄附研究部門教授、日本学術会議副会長などを経て、2009 年 4 月から現職。専門はジェロントロジー (老年学)。高齢者の心身の健康や経済、人間関係の加齢に伴う変化を 25 年にわたる全国高齢者調査で追跡研究。近年は超高齢社会のニーズに対応するまちづくりや産官学民協働のリビングラボにも取り組む。超高齢社会におけるよりよい生のあり方を追求している。

○講演企業の概要

1 株式会社前川製作所 ※当会法人会員

- ・ 1924 年創業。産業用冷凍機並びに各種ガスコンプレッサーや食品関連製造プロセス冷却設備の製造販売を主に行っている世界的な冷凍機メーカー。
- ・ 自然界に存在する冷媒を用いた技術により、地球にやさしい機器やシステムを提供。
- ・ 前川製作所では定年となった後も本人が希望し周囲が了解すれば何歳までも働くことができる。
- ・ 数多く開発される世界レベルの冷凍システムの多くが定年後シニアと現役社員との共同作業による。

2 NPO 法人京都シニアベンチャークラブ連合会

- ・ 京都ならではの独自技術を保有する企業や行政の OB グループ 9 団体から構成された連合体でシニアが活躍するユニーク集団。
- ・ 企業や行政機関で経験を積んだ OB の知識・技術・ノウハウを社会貢献に役立てることを目的として 1999 年発足、2007 年に NPO 化。
- ・ 中小企業及びベンチャー企業の支援、体験学習支援等の教育支援、産学共同支援、中小企業等の省エネ診断などを行う。

3 トヨタ自動車株式会社 (名古屋大学 COI) ※当会法人会員

- ・ 1937 年創業。単一の自動車メーカーでは世界最大。四輪車の販売台数世界第 2 位 (2016 年度)。
- ・ 人・クルマ・交通環境の総合的な取組みである ITS (Intelligent Transport Systems) を通じて、クルマを中心に、より安全で環境にやさしく快適な移動の実現に取り組む。
- ・ 文部科学省のセンター・オブ・イノベーションプログラムの 1 拠点である名古屋大学 COI では、高齢者が自らの意思でいつでもどこへでも移動でき外出頻度と社会参加が増加し主観的な幸福感が向上する「高齢者が元気になるモビリティ社会」の実現を目指し研究開発を推進中。

■参加お申込み方法

- ・ 募集開始時期 2018 年 1 月中旬
- ・ 申込方法 別途ご連絡
- ・ 参加費 無料

以上